

詰碁解答 (問題は54頁)

〈正解〉

まず黒1のキリが肝心です。白2のウケに黒3のホウロコミがとどめ。黒5でピッタリ仕上げました。

〈失敗〉

黒1を先に打つのは、白2ツギの急所に守られ、「マガリ四目」の形で生きられてしまいます。

詰将棋解答 (問題は54頁)

〈正解〉
 ▲3五銀△同金▲3三銀打△同桂▲2五飛△同桂▲3三馬までの七手詰め。

〈解説〉
 初手▲3五銀はまずこう打つもの。△同金に▲3三銀打から▲2五飛が詰将棋ならではのトリックのような手順。△同桂に▲3三馬と寄せばピッタリ決まっている。なお六手目△同金はやはり▲3三馬で駒余りの詰み

一般社団法人
 全日本建設技術協会
 令和3年度理事・監事等構成

会 長 大石 久和

副 会 長 後藤 敏行
 小川 富由
 小原 恒平
 神山 守

理 事 西植 博
 安田 吾郎
 藤井 元生
 高吉 晋吾
 小林 秀晃
 永澤 親兼
 金子 勉
 細島 譲
 牧野 裕之
 棚橋 元
 津坂 英司
 西出 俊亮
 有路 稔
 木村 圭策
 植村 公彦
 野田 主馬

専務理事 泊 宏

常務理事 西成 秀幸

監 事 加藤 利弘
 花井 徹夫

編集後記

今号の「災害発生！そのとき」は、九州地方整備局鶴田ダム管理所の対応です。平成18年、川内川流域は記録的な豪雨に見舞われ、鶴田ダムは、ダムの容量のほぼ満杯まで水を貯め、緊急放流（異常洪水時防災操作）を行う事態となりました。ダムの能力の限界に迫る異常洪水時防災操作は、長年にわたりダム管理を経験した職員でも、大変な緊張を伴うものです。

鶴田ダムでは、電気、水道、電話回線等が途絶し、アクセスする道路が全て被災して孤立した状態で、このような操作を行うこととなりました。非常用電源の燃料をできるだけ温存するため、管理所内の冷房や照明を停止し、真夏の暑い操作室で操作用モニターの灯りをたよりに手書きでグラフを作成しながら、立て続けて襲う危機を乗り越えていかれました。

厳しい状況においてしっかりと対応されたのは、何よりも職員の皆様の強い使命感があったのだと思います。しかし、それだけでなく、平素からの訓練や先輩方からの御指導の積み重ねによって培われてきた技術力があってこそ、臨機応変な判断、的確な対応ができたのだと思います。

当時の鶴田ダム管理所職員の皆様に心から敬意を表するとともに、今回の原稿をご執筆していただいた皆様、掲載に当たりお力添えを頂いた同整備局幹部の皆様にも本欄をお借りして改めて御礼を申し上げます。

さて、今号の特集は「災害に強い安全な国土づくり」です。平成30年の西日本豪雨や令和元年の東日本台風等で被災した地域では、復旧・復興が進められています。本号では、各地からお寄せいただいたこれらの取組に関する報文を掲載しています。

インフラの整備・管理を担う全建会員にとって、災害への対応は無縁ではられません。本部としても会員の皆様のお役に立つことができるよう、機関誌を通じた情報の提供、講習会の企画、出前講座の支援など、様々な取組を進めてまいります。(本部事務局)

月刊「建設」編集委員

委員長 杉中 洋一

委 員 藤井 佳人

委 員 山本 洸太

副委員長 野坂 周子

増田 達

中村 允宣

菅原 寛明

里内 俊介

秋山 秀樹

高原 洋介

大利 泰文

南 彩

大坪 祐紀

板倉 舞

河合 功介

森田 裕介

松井 大生

吉川 昌孝

松岡 佳秀

道谷 健太郎

永野 収

伊藤 直樹

猿澤 宗一郎

桑嶋 健

石川 勝浩

三輪 晴文

(令和4年3月1日現在)

広告掲載に関するお問合せ先
 一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 機関誌編集担当
 TEL: 03 (3585) 4546 FAX: 03 (3586) 6640 E-mail: kensetsu@zenken.com

※本誌の内容の全部または一部について、法律で認められた場合を除き、無断で転載・複写等することを禁じます。

第66巻 第3号

発行 一般社団法人 全日本建設技術協会

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7階

TEL: 03 (3585) 4546 FAX: 03 (3586) 6640

URL: <http://www.zenken.com/>

印刷 大盛印刷株式会社 TEL: 03 (3971) 1246

(発行数59,600部)